

股関節の不安定感についてのアンケート調査結果 調査機関：2019.5.30.-6.17. (2週間) 回答者数：183名 インターネット上での匿名制アンケート。

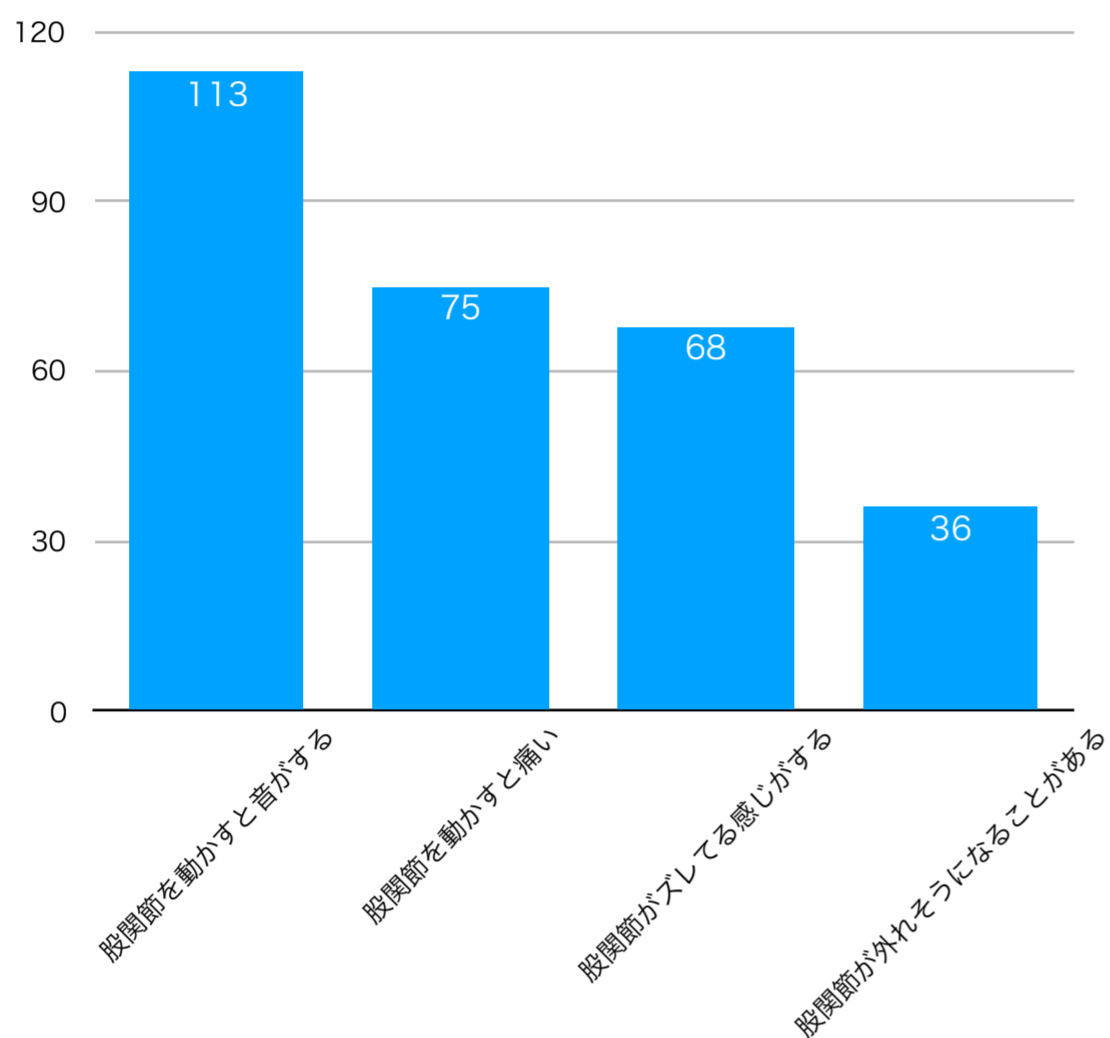
白蓋形成不全が変形性股関節症の8割を占める中で、一般の方々の意識調査並びに、今後早期発見のためのヒントを得るために、インターネット上でアンケートを実施しました。以下に結果を公表します。ご協力ありがとうございました。

※本資料をご利用の場合は当法人へお問い合わせの上、必ず出典を明記してご利用下さい。



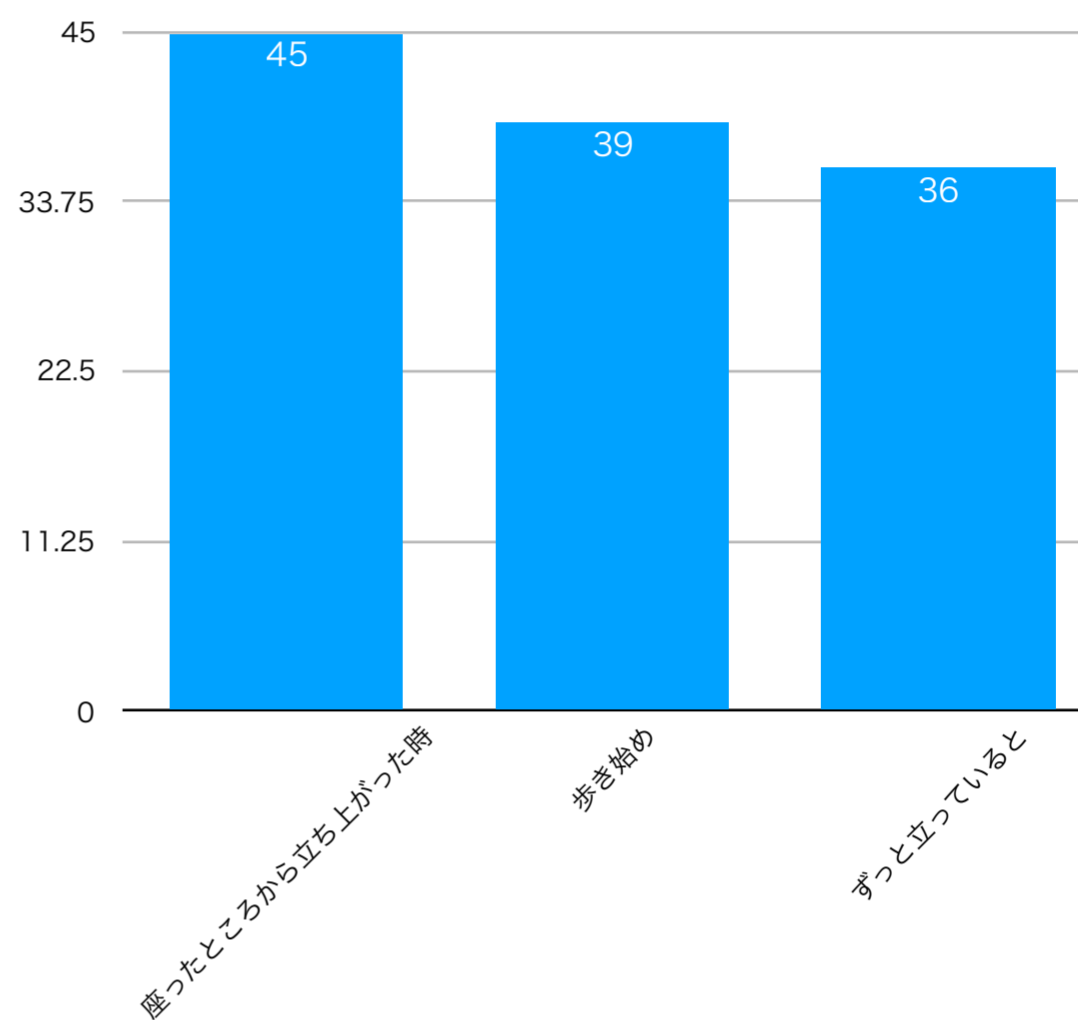
Q1 股関節の違和感にはどんなものがありますか？（複数回答：上位4位）

設問	回答数
股関節を動かすと音がする	113
股関節を動かすと痛い	75
股関節がズレてる感じがする	68
股関節が外れそうになることがある	36



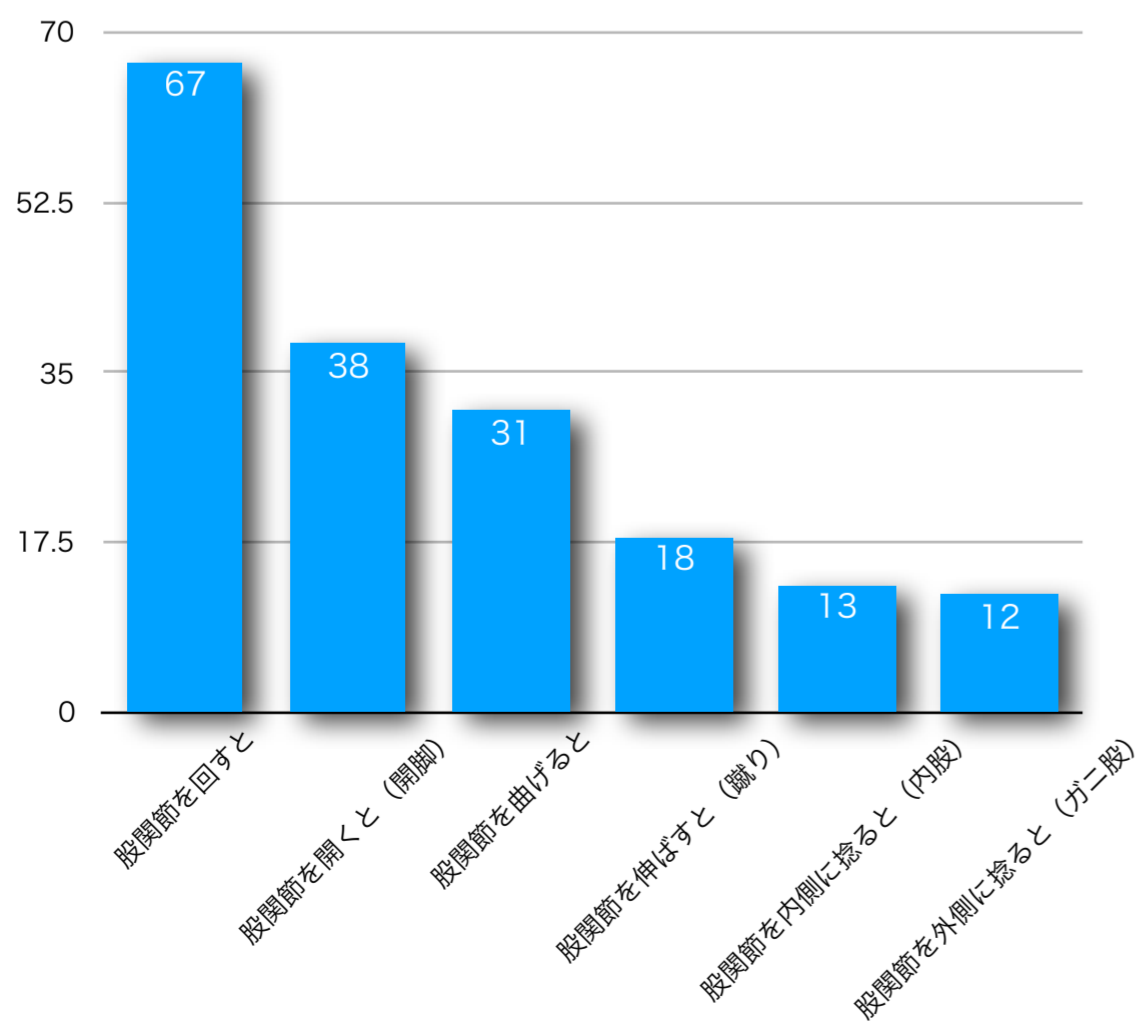
Q2 どんな時に不安定感や違和感がありますか？（複数回答：上位3位）

設問	回答数
座ったところから立ち上がった時	45
歩き始め	39
ずっと立っていると	36



Q3 音がなる方は何をするとなりますか？（複数回答：上位6位）

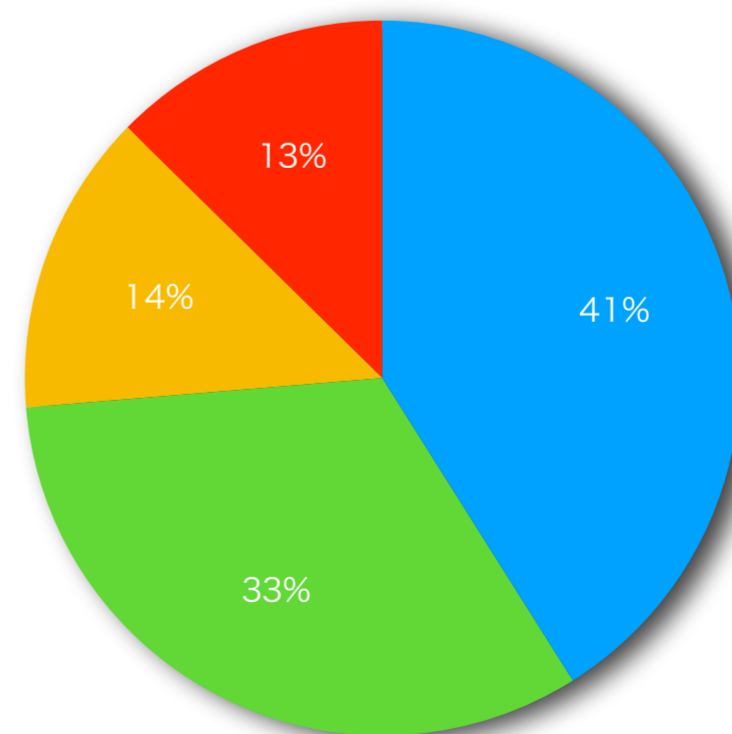
設問	回答数
股関節を回すと	67
股関節を開くと（開脚）	38
股関節を曲げると	31
股関節を伸ばすと（蹴り）	18
股関節を内側に捻ると（内股）	13
股関節を外側に捻ると（ガニ股）	12



Q4 「白蓋形成不全」「発育性股関節形成不全」を知っていますか？

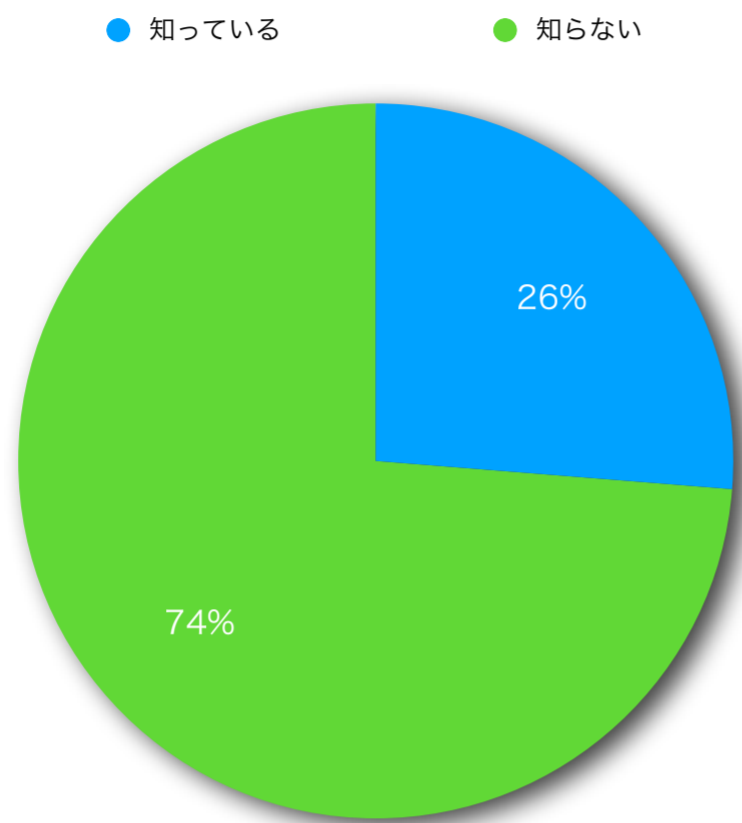
設問	回答数
聞いたことはあるが自分がどうかは知らない	41%
知らない	33%
医師から指摘されたことがある	14%
自分がそうだと知っている	13%

- 聞いたことはあるが自分がどうかは知らない
- 知らない
- 医師から指摘されたことがある
- 自分がそうだと知っている



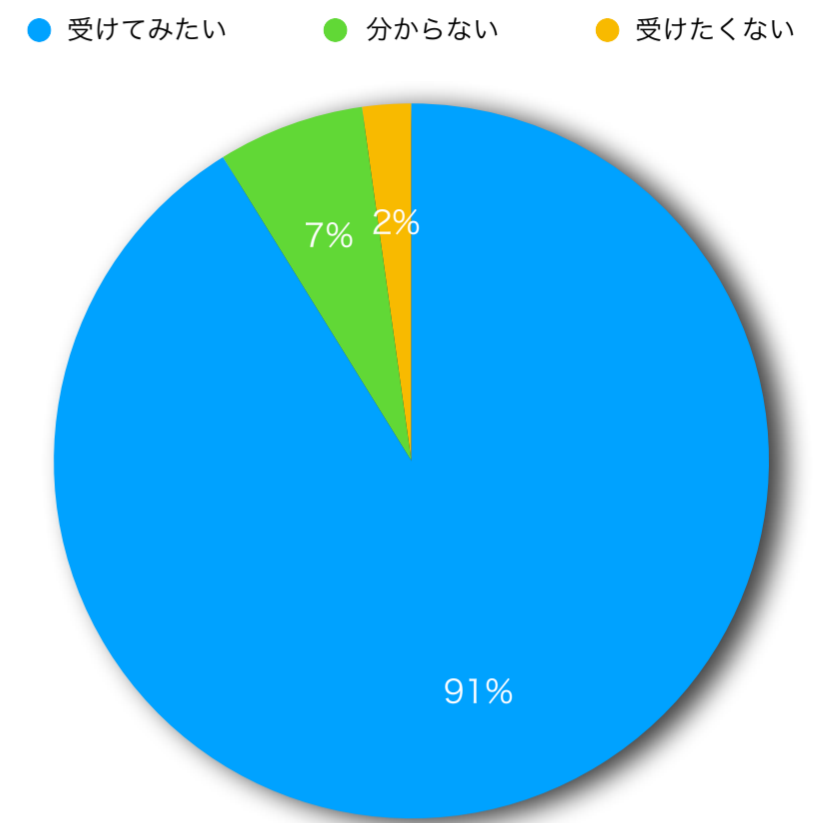
Q5 変形性股関節症の8割が股関節の形成不全が関係しているということを知っていますか？

設問	回答数
知っている	47
知らない	132



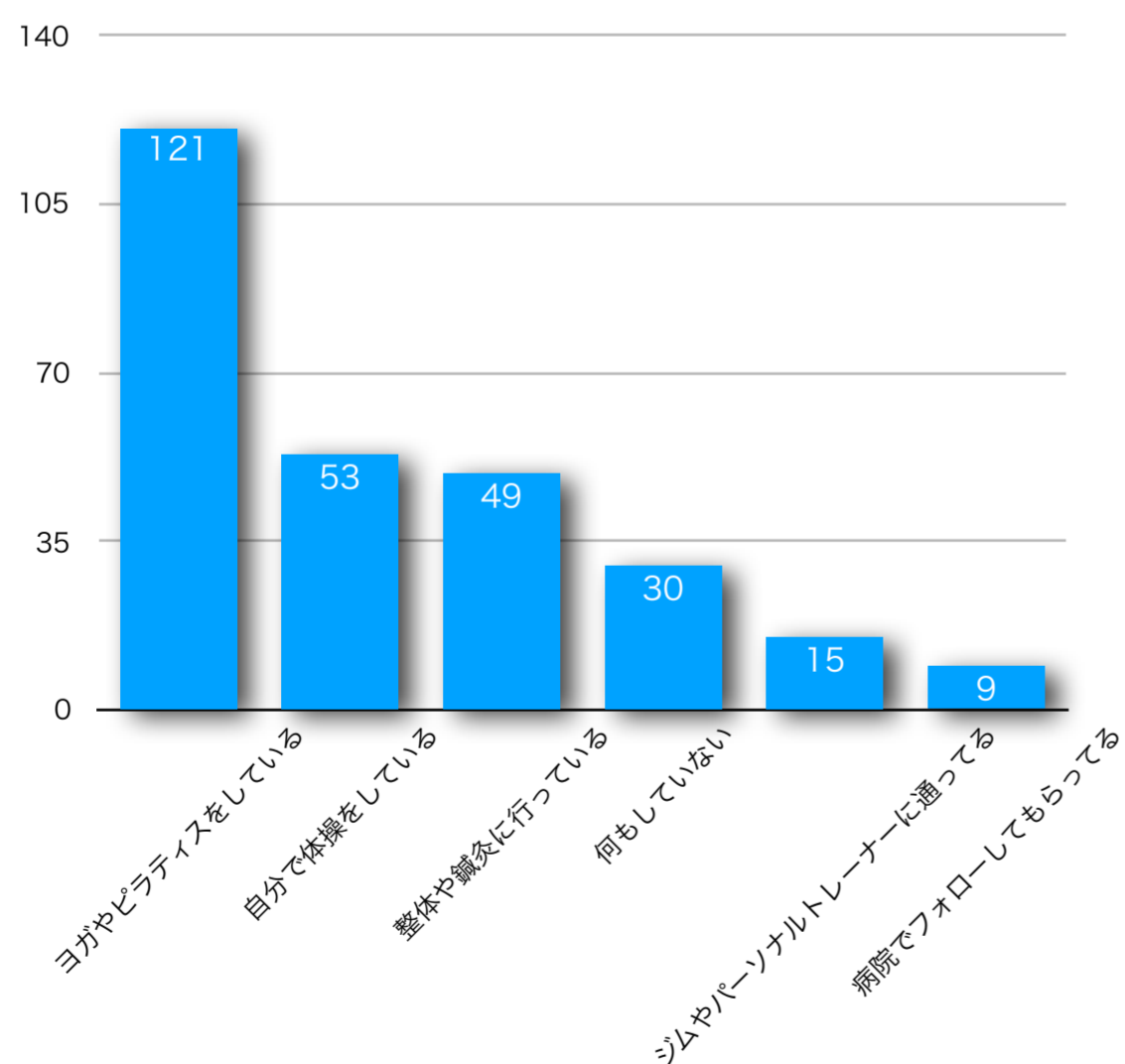
Q6 股関節の検査が身体に負担なくできるとしたら受けてみたいで

設問	回答数
受けてみたい	
分からない	
受けたくない	



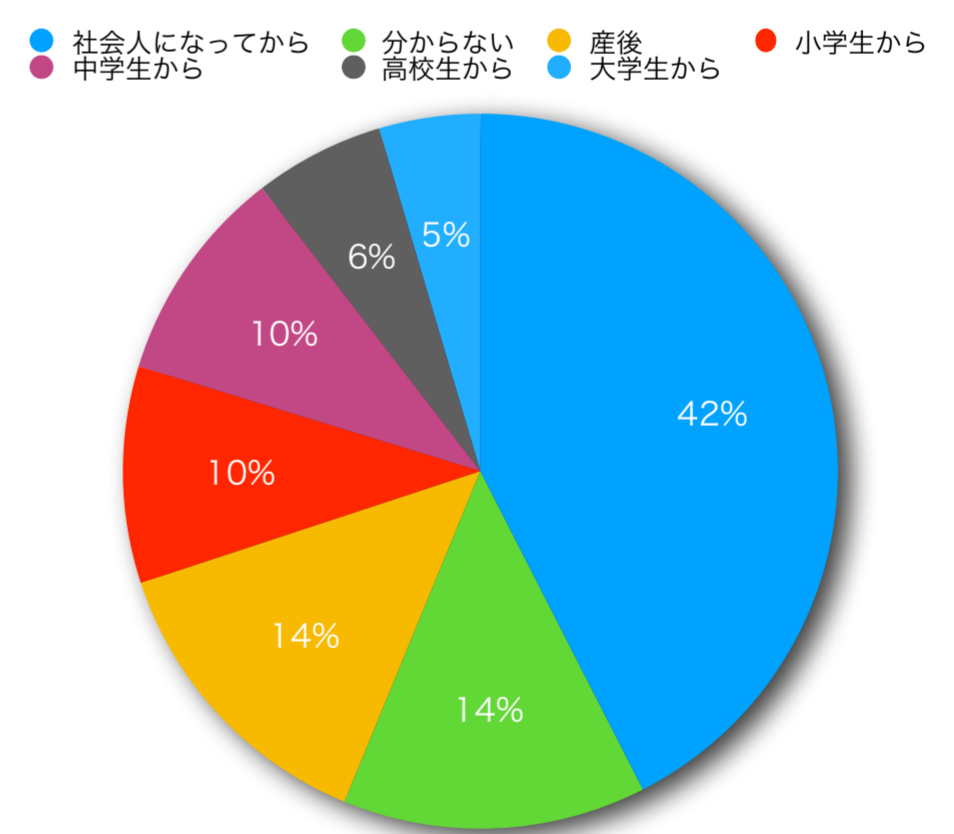
Q7 股関節に対して何が対策をしていますか？（複数回答可：上位6位）

設問	回答数
ヨガやピラティスをしている	121
自分で体操をしている	53
整体や鍼灸に行っている	49
何もしていない	30
ジムやパーソナルトレーナーに通ってる	15
病院でフォローしてもらってる	9



Q8 いつ頃から股関節に違和感を感じていますか？（上位7位）

設問	回答数
社会人になってから	
分からない	
産後	
小学生から	
中学生から	
高校生から	
大学生から	



股関節の違和感では「音がる」、「動かすと痛い」が多く、座ったところから立ち上がったときや歩き始めで違和感を感じている。また股関節の音は股関節を回すときに多くなっている。股関節の形成不全についての認知度は低く、股関節に違和感を感じながらも自身がそうであると自覚している人は27%に過ぎなかった。また変形性股関節症の8割が形成不全が関与していることは74%が知らない現状である。変形性股関節症の予防にはまずは一般の方々への啓蒙活動が必須であることが伺える。股関節に対する対処法の多くはヨガやピラティス、自分で体操、整体や鍼灸であった。股関節の違和感は42%が社会人になってからで、産後も14%見られた。学生時代からは31%が股関節の違和感を実感していた。これは学生時代からの介入が必要であること、また産後にもフォローが必要であることが示唆される。現在、形成不全に対してはレントゲン画像でしか判断する方法はないが、非侵襲的で簡単に検査が行えるならば91%の方々が受けてみたいという意思を持たれていることから、早急に早期診断の方法が確立されることが望まれる。今後も、一般社団法人ヘルスファウンデーション協会としては変形性股関節症の予防、啓蒙を推進していききたいと思います。